

**No.46** 地震・津波対応マニュアルを活用した児童の危機対応能力を高める実践

- 管内 宗谷管内
- 分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 地震・津波等の災害に対応したマニュアルを活用した実践的な避難訓練
- 避難時の心構えや避難方法等についての理解の深化
- 児童の危機対応能力の育成

■取組の実際  
ねらい

- 地震や津波などから、生命や身体の安全を守るために必要な知識や思考力・判断力を身に付けさせることを通して、防災に対する児童の意識の向上を図る。
- 津波対応マニュアルに基づいた訓練を実施することにより、災害時に備え、児童の安全確保のための行動を確認し、教職員一人一人の防災意識を高める。

内 容

<地震・津波対応マニュアル>  
【フロー図】※在校時

地震発生

↓

安全確保、火気への対応

↓

情報の収集避難指示

↓

避難後の対応

↓

避難解除・津波注意報解除後の対応

↓

事後の対応、措置

◆避難訓練の実施  
地震発生後、グラウンドに一次避難し、その後、津波警報の発令を受け、二次避難を行った。

【初期対応】

- ・校舎内にいる児童は、机の下等、落下物から身を守る場所に身を寄せる。
- ・校舎外にいる児童は、建物から離れる。
- ・揺れが収まってから、指示に従って避難場所へ移動する。

【二次対応】

- ・教師が津波警報の発令を確認する。
- ・児童は、指示に従い、高い所に避難する。



<二次避難する様子>

◆児童の引渡し

- ・地震の規模や、被災状況により、児童を下校させるか、学校に待機させ保護者に引き渡すか判断する。
- ・保護者に引き渡す際には、通信手段が使用できない可能性があるため、事前に「児童の引渡し緊急連絡カード」を配付し、保護者に記入してもらうとともに、引渡しの手順を明確にしておく。
- ・引き取り者がいない児童には、不安を抱かせないよう心のケアに努める。

児童の引渡し緊急連絡カード

児童名	( )	学年	( )	年組	( )
	( )	学年	( )	年組	( )
住所	TEL ( )				
保護者名	所属の団体				
緊急時の連絡先	(有・無)	年組	年組	氏名( )	氏名( )
緊急時の連絡先	①本館	電話( )	携帯( )		
	②本館	電話( )	携帯( )		
	メールアドレス①( )				
	メールアドレス②( )				
引取り者名	本人の印鑑				
避難場所					
引渡し日時	月	日	時	分	教職員名

成果と課題

- 学校経営計画に、在校時や在校時以外の地震・津波災害時における対応を明確化したことにより、教職員一人一人が意図的・計画的に指導することができ、防災に対する児童の意識を高めることができた。
- 二次避難場所の安全確保や避難経路の状況確認など、避難訓練で明らかとなった課題を整理して、改善策を地震・津波対応マニュアルに反映させる必要がある。

